

盟約書

日光市と苫小牧市は、共に八王子千人同心によって守られた歴史的背景とアイスホッケーを中心とした伝統的スポーツ精神のゆかりにもとづき、相互に教育・文化・産業・経済など広く交流を図り、友好と理解を深め、相たずさえて発展することを念願し、ここに両市が姉妹都市として、提携することを盟約する。

昭和57年4月16日

日光市長 **新藤善亮**
苫小牧市長 **大泉源郎**

苫小牧市と姉妹都市を提携

厳粛で和やかな調印式

八王子市含め“三姉妹”が誕生

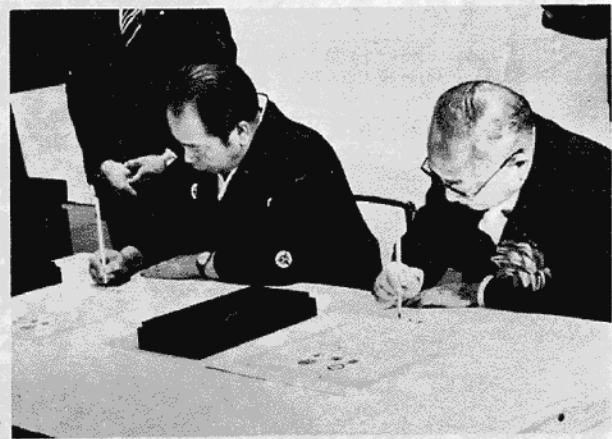
日光市と苫小牧市（北海道）との姉妹都市盟約式が、四月十六日午前十一時から総合会館で行われました。苫小牧市は、昭和四十八年に八王子市と姉妹都市の縁組みをし、また、日光市も昭和四十九年に八王子市と姉妹都市になっており、この日の盟約式で、日光市、八王子市、苫小牧市は全国でも珍しい「三姉妹都市」が誕生したわけですね。

盟約式には、八王子市の後藤市長が仲人役となり、齋藤日光市長と大泉苫小牧市長が盟約書に署名、市旗や記念品を交換し合い、固い握手を交わし、今後、姉妹都市として文化、経済、スポーツなど幅広い交流を通して両市の友好と信頼を深めていくことを誓いました。

この盟約式には、苫小牧市から

市議会議長をはじめ商工会議所会頭、体育協会長、体育協会理事長など各界の代表者と市民の旅行団四十五人も会場に姿を見せ、姉妹都市の誕生を喜び合いました。

盟約式終了後、日光婦人会、市職員による「和楽踊り」が披露され、遠来の苫小牧市民を喜ばせました。このあと、姉妹都市提携を記念して総合会館敷地内に「イチイ」の木を記念植樹し、また、総合会館大会議室では、苫小牧市民旅行団を含めて祝賀会を開くなど、終始なごやかな雰囲気の中で姉妹都市が誕生しました。



▲盟約書に署名する両市長（右・苫小牧市長、左・日光市長）

この日は、日光の春を告げる弥生祭の宵祭。市観光協会のはからいで東西十五か町の家体が総合会館前に勢ぞろいし、両市の縁組みを祝いました。

盟約式を終え握手を交わす右から日光八王子苫小牧の各市長



▲和楽踊りも盟約式に花を添える



祝 苫小牧市・日光市姉妹都市盟約式

表紙シリーズ

市民の中に
生きる文化財

シダレザクラ

エドヒガンの一品種で、主幹は斜に立ち地上約二メートルで二岐し、南と北に分かれ、北の幹は約二・五メートル上部でさらに二岐し、分枝して下垂している。このサクラの根元には目通周囲一・四メートル、高さ約十五メートルのコウヤマキが直立しており、このためにサクラは北東から南西に枝が大きく張り出している。幹は下部がやや振れており、縦に大きく二・三本の割れ目があって、二・三本の幹が癒着して一本の幹になったようにも考えられる。

このサクラは元来一本の幹とすれば、その周囲の太さから樹令は約二五〇年と推定されるが、二・三本が癒着して一本になっているとすれば、更に若く約一五〇年と推定される。

花はほとんど白色で例年四月二十日頃に開花し、古くから付近の住民に親しまれている。

所在地 日光市稲荷町一丁目
所有者及管理者 高田雄康氏
昭和五十一年指定二十七号
日光市の文化財より抜粋